

新潟県栃尾工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

栃尾工業用水道は、県中央部の長岡市栃尾地域の地場産業である繊維染色業に給水する工業用水道である。

建設に当たっては、地元栃尾市（現長岡市）、地元織物組合などの陳情を受け、県が昭和55年に建設した。

給水能力は30,000m³/日であり、施設の維持管理は、地元長岡市に委託し運営している。

○事業の経緯

栃尾工業用水道がある長岡市栃尾地域は、古くから繊維産業が盛んであり、繊維染色業では河川表流水、上水道及び地下水に依存していた。

しかしながら、主な水源である刈谷田川は夏場の渇水期における流量がほとんどなくなり、水の確保に苦慮していたため、県が別に総合開発事業として建設した刈谷田川ダムに水源を求めることにしたものであり、総事業費約25億円で国庫補助を受けて昭和48年に着工、昭和54年に完成し、昭和55年4月1日から給水を開始した。

しかし、繊維産業等が低迷していることなどから受水企業や給水量の減少などが相次ぎ、現在の給水先は5件、契約率は約23%と不振が続いている。

○ユーザーの概要

(平成17年12月末現在)

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
繊維	5	7,000
合計	5	7,000

○施設の概要

栃尾工業用水道の上流にある刈谷田川ダムは、新潟県土木部が管理している多目的ダムであり、企業局の刈谷田発電所も設置されている。工業用水の取水は下流で行っているが、ダムのおかげで安定した工業用水を供給することができる。

栃尾工業用水道は、信濃川水系刈谷田川の長岡市大川戸地点にある取水堰堤から取水し、取水場内の沈砂池を経て調整池へ導水している。

取水場からは、自然流下（一部ポンプ圧送）により、約4km下流の給水区域まで、管径500～150mm、総延長約6kmの配水管で原水のまま配水している。

○事業の特徴

長岡市栃尾地域（旧栃尾市）では、合繊織物は県内で最も生産量が多く、戦後大きな成長を遂げたニット生産の県内有数の産地でもある。

また、この地域は名水の里としても知られ、昭和60年に環境庁（現環境省）の全国名水百選に選ばれた「杜々の森湧水」は、名水公園として市民の憩いの場所となっている。

○新潟県企業局のホームページアドレス

<http://www.pref.niigata.lg.jp/kigyoo/>

(給水区域図：次ページ上に掲載)

給水区域図

